

【2017年度不開講】 2017年度 体育学研究科(体育学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	授業形態	単位	担当者名
幼児体育論研究	1・2年次春学期 (1・3セメスター) 集中講義・隔年開講	講義	2	平田 智秋
授業概要				
<p>運動の進化や発達から身体運動を見直し、柔軟な身体観を養いたい。講義だけでなく心理学実験も行い、実験の計画からRを用いた解析、そして考察までを一通り実習しながら、心理学の手法を用いた身体運動科学の実践力を涵養する。</p>				
授業目標(到達目標)				
<p>身体が心の働きに与える影響について例示できるようになる。自らの問題意識を仮説から、実験計画まで落とし込めるようになる。さらには基本的な解析スキルを身につけ、そしてデータの要点を読み取ることができるようになる。</p>				
成績評価方法・基準				
<p>平常点(20%)、授業への取り組み(40%)、レポート(40%)</p>				
教科書・教材・参考文献 等				
<p>教科書は特になし。授業時に資料を配布する。</p>				
授業計画				
	項目・内容			
1	骨と筋肉の構造と働き:二足歩行の進化学			
2	力を発揮する仕組み			
3	脳の構造と機能:感覚運動系を中心に			
4	ニューラルネットワーク実習:教師あり学習の実習			
5	運動と動機づけ			
6	運動の発達			
7	運動の学習			
8	道具を使った周期運動:ブランコ漕ぎの自由			
9	紙と鉛筆を用いた心理実験・フィッツの法則:速さと正確さの相反性			
10	Rを使う1:速さと正確さの実験データの解析			
11	PCを使った心理実験1:ストループ効果を使った実験の計画			
12	PCを使った心理実験2:仮説の作成と実験。データの概観			
13	Rを使う2:ストループ実験の解析			
14	データの考察:解析結果を文章にする			
15	総括			
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)				
<p>授業は学生さんと教員との相互作用でつくり上げるものだと考えています。積極的な参加を望みます。</p>				